

メキシコの廃棄物処理に日向市の企業が挑む！ ～使用済農業用フィルムのリサイクルで環境改善に貢献～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社黒田工業(宮崎県日向市、加藤功司代表取締役)が株式会社パンテック(滋賀県大津市、黒木政明代表取締役)と共同で提案した「農業用フィルムおよびプラスチックのリサイクル技術及び適正処理技術に関する案件化調査」(メキシコ)を採択しました。

調査対象地であるメキシコでは、ビニルハウスによる農業方法が主流であり大多数の農業従事者が活用している一方で、使用済農業用フィルムの大量投棄や野焼きが課題となっており、適正な処理が求められています。

本調査では、株式会社黒田工業が有するプラスチック再生処理技術と固形燃料化処理技術の適合性を検証して、農業用フィルムやプラスチックのリサイクルモデルを構築することを通じて、メキシコにおける廃棄物の減容化と廃棄物由来の固形燃料を提供することによってクリーンエネルギー形成に寄与することが期待されます。



農業用廃プラスチック



固形燃料

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2018 年度第 1 回分は今年 4 月に公示を行い、20 件が採択。参考:(プレスリリース)案件化調査 2018 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州センター 市民参加協力課 担当：藤井、山下
TEL : 093-671-8204 e-mail : Fujii.Keitaro2@jica.go.jp